

**第14回全国システム実務者研修会
質疑応答**

全国システム実務者研修会で頂戴いたしましたご質問等についてお答えいたします。
また、アンケートでは貴重なご意見・ご要望をいただき、誠にありがとうございました。
次年度以降の全国システム実務者研修会をより良いものにしていくよう努めてまいります。

	質問	回答
1	請求・支払CSVデータ/PDF帳票ダウンロード機能ですが、売上伝票にも同様の機能があればよいと思います。	まずは請求支払の対応が先となりますが、売上伝票についても他企業様からのご要望が多いようであれば検討いたします。
2	弊社は卸ですが、メーカー様側がどのデータ種にどのように対応しているのかわからないので、対応状況が分かるようにできないでしょうか。	e-お菓子ねっとHPに掲載しておりますので、そちらをご確認ください。 HOME> 会員向け情報> データ種利用状況 ※会員用IDが必要
3	V1からV2への移行予定はありますか。	今のところ会員企業様にV2移行を強制するようなイベントが発生する予定はありません。移行が必要になるイベントが発生する場合には適宜情報をご提供差し上げます。
4	V2への移行を推進していただきたい。	V2データの利用を強制する場合、コスト面等でフォーマット変更対応に対応できずに退会せざるを得なくなってしまう会員企業様が発生してしまいますので、その点も考慮して移行推進を考えていきます。
5	メーカー様の商品情報などは、データ種に追加できないのでしょうか。 (JAN、ITF、統一商品コード、終売情報など基本情報だけでもあるとだいぶ違う)	商品情報に関するデータ種は過去にございましたが、ほぼ利用されなかったため提供が終了となりました。メーカー企業側の負担も大きく、運用に関する課題が多かったものとなりますが、再サービス化の声が大きい場合は改めて検討いたします。
6	「請求・支払CSVデータ機能」の販促金請求の関係も教えてください。	現行の請求・支払データは「商品に紐づく請求・支払業務」を対象としていますが、開発予定の請求・支払帳票データは「請求・支払の行為」に特化しています。新機能には現行機能では入力できない、商品に紐づかない販促・役務に関するデータを入力することが可能になるほか、合計請求額からの相殺等も可能になるようなサービス提供を検討しています。
7	導入例をもっと取り上げて説明して頂けると嬉しいです。	次回の実務者研修会では取り上げるようにいたします。 過去の導入事例はe-お菓子ねっとHPに掲載しておりますので、そちらをご確認ください。 HOME> 導入事例
8	現在の適応内容が企業間で大きく違うと考えます。その適応力によって、e-お菓子ねっとの内容の理解度に差があるためにレベル毎の説明・研修をお願いしたい。	どの程度の集客が見込めるものかを鑑みて検討させていただきます。
9	卸様の適応・対応状況に合わせての対応となると考えるので、卸様の現状の取り組み状況を教えてください。	e-お菓子ねっととして各卸企業様の取組状況を取りまとめてメーカー企業様に情報提供することは今のところ難しいです。 まずは以下でお取引のある卸企業様のデータ種利用状況をご確認いただき、それぞれの卸企業様にご確認いただけますよう、お願いいたします。 HOME> 会員向け情報> データ種利用状況 ※会員用IDが必要
10	各種データの利用状況などを詳しく教えてください。(直送、在庫予定、請求)	e-お菓子ねっとHPに掲載しておりますので、そちらをご確認ください。 HOME> 資料室> 利用状況資料> データ処理件数推移
11	請求・支払CSVデータ/PDF帳票ダウンロード機能導入が決定した段階で、オンラインで良いので、導入を検討する各社への説明をお願いしたい。	新機能に関する説明会等は実施をする予定です。
12	普及拡大に向けてのきっかけづくりとして、個別の相談会のような窓口を設けて欲しい。	まずはカスタマーサポートデスクまでご相談ください。 HOME> サービス> サポート体制
13	企業レベルにあった相談が出来る時間を設けて頂きたい。	今回は5年ぶりのリアル開催となり5年前の実施方法を参考にして実施させていただきました。次年度以降の実施方法につきましては今回の実施内容を踏まえて改めて検討いたしますのでよろしくお願いたします。
14	意見交換会についてもWEBで開催して頂きたい。	
15	東京での全国からの集合の他にも、各地方ごとの開催も検討して頂きたい。	東京での開催内容と同じレベルでの開催は予算的にも難しい状況ですが、新システムの説明会等直接お話しをしてお伝えしたいことに関しては各地区にお伺いいたしますのでその際はよろしくお願いたします。
16	オンライン込みで、テーマ別分科会として年間を通して集まれるような機会を設けていただきたい。	会員の皆さまと情報交換等を行える場を設けることは非常に有意義であると考えておりますので次年度以降に検討させていただきます。